臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学病院（病院長代行：阿部　信二）脳神経外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け承認の後、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

「人工知能による悪性神経膠腫の病理画像の解析と予後との関連」

[研究の背景と目的]

近年、病理標本スライドをデジタル化する技術は、人工知能技術を応用する研究に発展しています。病理診断支援システム開発の他、病理画像と臨床情報との関連等について様々な疾患で研究が行われています。

本研究では、悪性神経膠腫の病理画像データと病理臨床学的因子との関連について、人工知能を用いた最適な解析手法の確立を目的とし、予後予測可能なシステムの開発を目指します。

[研究の方法]

●研究対象者となる基準

2010 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の期間に、病理診断のために検体または病理標本スライドが提出され、悪性神経膠腫と診断された患者さん。除外基準は研究不参加の申し出があった患者さんと病理標本スライドがコンピュータ処理に適合しない症例です。

●研究期間

研究機関の長の許可日　～　2030 年 3 月 31 日

●利用する検体やカルテ情報

病理診断のために作成保管された標本スライドまたは画像データ
年齢、性別、治療内容、生死や再発の年月、
病理診断報告書（組織亜型、分子診断）のカルテ情報

●利用を開始する日

2026 年 6 月 25 日

●検体や情報の管理

病理標本スライドまたは画像データ、カルテ情報は個人が特定できないように加工を行った後に、東京医科大学脳神経外科学分野へパスワードで保護された電子情報として特定の管理者のみアクセス可能な記憶媒体で提供され、研究を終えた後に、廃棄されます。

解析用データベースは個人が特定できないように加工され、氏名や生年月日、カルテ番号等の情報は含まれません。加工された情報から研究対象者を識別できるように研究登録番号と個人情報との対応表が作成されますが、対応表は施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。データの検証が求められる場合に備えて、研究終了後 5 年間もしくは各施設の規程で定められたいずれか遅い期間まで保管した後、データ消去ソフトの利用等により、廃棄します。実施体制外への情報提供は行いません。

[実施体制]

東京医科大学(代表研究機関　学長:宮澤　啓介)

脳神経外科学分野	講師	永井　健太(研究代表者/研究責任者)
	主任教授	河野　道宏
	教授	深見　真二郎
	助教	小野寺　翔
分子病理学分野	主任教授	黒田　雅彦
人工知能応用医療講座	教授	齋藤　彰
	客員講師	沈　彬

東京女子医科大学病院(病院長:山口　淳一)

脳神経外科	助教	郡山　峻一(研究責任者)
脳神経外科	助教	都築　俊介
脳神経外科	助教	呂　聞東

[問い合わせ先]

東京医科大学脳神経外科学分野　永井健太

住所　東京都新宿区西新宿６－７－１

施設名　東京医科大学病院

診療科(部署)　脳神経外科学分野

電話番号　03-3342-6111 内線 5773(平日 9:00～17:00)

E-mail　k-nagai@tokyo-med.ac.jp

≪共同研究施設名≫

東京女子医科大学病院 脳神経外科 郡山峻一

住所　東京都 新宿区 河田町 8-1.

施設名　東京女子医科大学病院

診療科(部署)　脳神経外科

電話番号　03-3353-8111 内線(平日 9:00～17:00)

E-mail　koriyama.shunichi@twmu.ac.jp